育英会だより

発行所
財団法人 漁船海難遺児育英会
東京都千代田区内神田
2丁目2番1号
鎌倉河岸ビル内
電話 03(256)1981
03(256)8394
印刷 ㈱連合印刷センター
電話 03(582)8541

三人の子供と私

佐伯邦子

昭和四十九年に結婚して、主人の望みどおり、女の子一人、男の子二人の子供にも恵まれ、平凡でしたが、幸福な毎日を、すごしておりました。

ところが、結婚十周年も迎えない昭和五十八年十一月三日、突然にして主人を海の事故で亡くしてしまいました。

あの日の事を想い出しますと、今の私がまるでうそのようです。

父親のいない子供、主人のいない私。夢にも思っていなかったことが、現実になってしまったのです。

両親揃った世間の人達を見て、どんなに、うらやましく思った事でしょう。

それまでは、私も主人と一緒に、海の仕事に出かけていましたが、私一人では、海の仕事も出来なくなり、一年以上も、家で遊んでおりました。もちろん、遊んでいるしか、何もする気力も、ありませんでした。しかし、三人の子供と、主人の両親と、一緒に暮らしておりましたし、私が働かなくては食べて行く事さえできなくなると思い、仕事をさがす事にしました。

幸いにして、学校給食の調理員が足りないと聞き、さっそく町の方に相談しましたら、パートですが、すぐ働けるようになりました。職場でも、みんないい人達ばかりで、何もかも忘れて、楽しく仕事をしております。子供達が大きくなるにつれ、色々とお金もかかりますが、どうにか、私と子供達の生活は、できるようになりました。

あれからもう四年にもなるのです。

当時三才になったばかりの末っ子が、今年は小学校に入学し、長女は中学校に入学、他の子供と同じように、立派に入学する事ができました。

ただ父親がいない、というだけの違いで、他には、何の変わりもなく、子供達は成長してくれています。これもみな、こんな私達のために、漁協の方々が、色んな手続きをして下さり、三人の子供には、毎月たくさんの奨学金を、いただいています。

他にもまだ、色々な制度があり、お陰様で、今も、幸福に暮らしております。

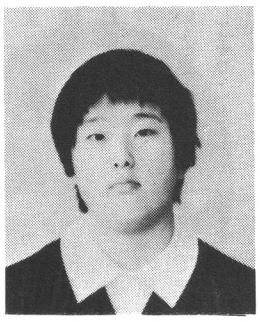
ほんとうにありがとうございます。

これから先、どんな運命が、私達に待っているのか分りません。その日その日を大切に、主人の遺していった大切な子供達を、育てて行きたいと思います。

〒869-36 熊本県天草郡大矢野町三八七四番地の五

私の十六年間

兵庫県立播磨養護学校高等部二学年
渡辺順子



私は十六年間の中で悲しかったことは、お父さんが四十二才という男ざかりの時に船の事故でこの世を去ってしまったことです。あのころ私は、小学三年、兄が小学五年、弟が幼稚園、妹が三才二ヶ月だった。お父さんのことはあんまり記憶には残っていません。お父さんは、すごくたんきで、すぐぼう力をふるうお父さんだった。私はそんなお父さんが大きらいだったから…。でもお父さんがこの世を去ってしまうと、友だちのお父さんを見ている時、「私のお父さんはいないのだなぁ。」と、そう思う。お父さんがいなくなってからは、お母さんが四人の子をだれの手もそえずに私たちをりっぱに育ててくれました。

お父さんは船に乗って漁師をしていました。たくさん魚をとって来てくれたけど、毎日の生活が大変でした。おばあさんも、ゴルフ場に働きに行っていたことを考えると、お母さんは困っていたことと思います。私は小学校の頃に「お父さん」という題で作文を書いたことを覚えています。私はその中で「魚をとっても少ないし、お金が少ないからお母さんが困っています。」と、書いた。それは本当だった。このようにお金の少ない時もあったけど、それでも私たちは耐えてきました。お父さんが事故でこの世を去ってしまってからも、もう私たちはだめだなんて一つも感じません。

おかあさんが書きためた作文の中に、こんなことが書いてあった。「小さな小船に乗った渡辺丸は、けんざいです。」とあった。たしかに渡辺丸はけんざいですが、時々小さな小船はしずみかける時もあるけれど、その時は、お互いにしずまないようにがんばっています。

今年は、お父さんの八年目の命日です。

私たちは、八年間でりっぱな子に育ちました。現在、今年で十九才になる兄は、滋賀県へ就職、弟は中学校二年生、妹は県立出石(いずし)養護学校の小学部五年生、それぞれ大きく成長したことは神のおかげというよりもお母さんのおかげです。私は生まれつき足が悪く、私が一番長くお母さんに迷わくをかけた親ふこうの娘です。今は、養護学校で訓練を受けて不自由ですが、がんばっています。今でも走りまわりたい気持ちは健常者と同じです。

普通の人から見れば「あの人、私たちよりも歩き方が悪い。障害者だ。」なんてことは、思わないで下さい。障害者になって生まれたのではありません。ある時、私は帰省の電車をまっていた時、知らないおばあさんが「そんな体になった以上、お母さんをうらみなんな。」といわれました。私は、お母さんはうらんではいません。私の過去のことを話すと、その人は涙ぐんでいました。とてもうれしく思いました。

私はこの育英会だよりを通して、現在、北海道の人、山口の人、愛媛の人と文通することができ、たいへんうれしく思いました。

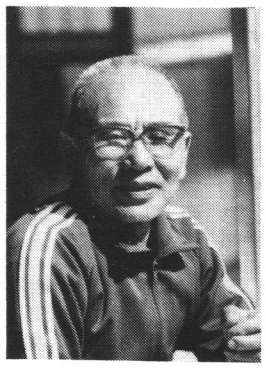
これからも、どんどん文通したいと思います。もしもこの私の文を読んでいる人がいたら、ぜひ、私と文通して下さい。私たちの方にも、このような事故でお父さんをなくした人が数多くいますが、気をおとさず、あせらず、マイペースですごして下さい。

天国にいるお父さんのためにも、しっかりがんばっていこう!

〒679-41 竜野市揖西町中垣内奥池2—135 県立播磨養護学校 寄宿舎内

孫たちのために

池田定



昭和五十九年二月末、何年振りかの寒気、海水温は例年よりも何度も低い年だった。磯建網に出かけた息子夫婦が、夜になっても帰って来ませんでした。夜も探しに出たのですが見つかりません。翌朝船だけが、真珠筏にかかっているのが見つかりました。

町、漁協、消防団、婦人会、保安部と町をあげての捜索も空しく、六日をすぎ、明日からは捜索規模を縮小せざるを得ない七日目の午前最初息子が、つづいて嫁が三分もたたないうちに引き揚げられました。大勢の方々の協力して下さった事が本当に身にしみました。

歳とった親をみるため、大阪で大工をしていたのをやめて帰って来てくれた息子夫婦でした。後継者が出来て本当に嬉しがっていた矢先の出来事です。小学一年生の女の子と三年生の男の子を遺して逝ったのはさぞかし心残りだったろう。この静かな我が家の目と鼻先の海で何故このようなむごい事が……。

これから後十年は、どうしても元気でなくてはならない。身体のあまり強くない家内と、どうして育てて行くかと相談して涙した事もあった。俺達のために逝ったお前の子供。今度は俺が育て上げてみせると、心の中で誓ったものです。

ある時、近所の人の話では「お父さんお母さんが居ないので淋しかろう」、と聞かれたら「爺ちゃん婆ちゃんがいるので一つも淋しゅない」と言ったとか。その時は、本当に嬉しくて涙が出ました。

まだ、大阪に男の子が二人いて大工をして居ますが、孫が三人ずついます。だれが帰って来てくれても、嫁さんが心配するばかりなので身体の続く間は頑張るつもりです。

死んだ息子の自動車の廃車の事で、裁判所の事務官に後見人になるか、養子にする方が良いか問い合わせたところ、養子にした方が良いとの事だったので、そのようにしたら今まで来ていた母子年金は、すぐとまりました。法を知らなかったのが残念です。片親なくした子でも年金をもらっているのに。

また、新興宗教の人が幾晩も遅くまで来る、人の弱見につけ込まれた気がして本当に腹立たしい事もあった。ある保険のセールスマンは貰いもせぬ保険金をたくさん出たと言って勧誘に来たとか。

現在、私ども二人とも年金を貰いながらぼつぼつ漁業をやっておるので、食べていくのには不自由はない。私は六十五才、家内は六十四才、この不幸な子供達の為にも、いつまでも元気である事を祈って、無理をしないようにして漁をやっていきたいと思います。

〒869-36 熊本県天草郡大矢野町中一一五八二番地の十九

第二回 願書受付締切日 昭和62年7月31日

9月16日〜30日

『海難ゼロへの願い』 昭和六十二年度 全国海難防止強調運動

本年も「海難ゼロへの願い」をこめて、官民の関係者が一体となった海難防止強調運動が行われます。本年の重点事項は「見張りの励行」です。育英会の奨学生願書に添付されてくる父親が乗船していた漁船の事故証明書を見ていますと、運航又は漁労中の見張り不十分が主因と推定される事故があって、本当に残念な思いがします。

「海難・労災事故をなくそう」、これは漁船海難遺児を励ます運動の大きな願いです。本会もこの強調運動の協賛団体の一員です。

皆さんの声を！

名前と顔が、すぐ一致して浮ぶ。いつでも「おーい、元気かね。」と、声がかけられたら、どんなにか楽しいことだろう。時々、こんなことを思っております。残念なことに現実は、名前と顔が一致する奨学生やお母さん方は、ごくまれ、きわめて限られています。

この現実を少しでも救ってくれるのが、この「育英会だより」です。直接お会いしていなくとも、寄稿してくださった原稿とお写真が、どれだけ親密度を増してくれるかしれません。

また、年に一回、一ヵ所で行う母親座談会でお会いできたお母さん方も、忘れることができません。つい気安くなって、「育英会だより」の原稿が足りないときなど、すぐ電話で無理を言ってしまうこともあります。

育英会は、本年十月二十九日で設立十七周年になります。この間、数えきれない漁業関係者、一般国民の皆様方からの温かい御支援があって基金がつくられ、奨学金の給、貸与事業等が続けられております。しかし、まだまだ、なすべきことが多くあると思います。このためにも、もっと、奨学生やお母さん方が、毎日のくらしの中で何を望んでおられるかを、よくしることが大切だと考えます。これをしる方法として、年四回発行の育英会だより、五年ごとに発刊する母、子の作文集、母親座談会等が、大きな役割を果しておりますが、もう一つ「漁船海難遺族生活実態調査」があります。

この調査は、年一県を選定し、その中から一～二市町村を選びアンケート調査とでき得る限り多くの家庭訪問をして、お話しをうかがうものです。本年は、八月下旬に北海道稚内市、岩内町に関係者がお邪魔します。すでに大変なアンケート調査をお願いしておりますが、併せよろしくお願い申し上げます。

（事務局　手島弘平）

都道府県別奨学生数

（昭和62年6月末現在）

県名	学資給与奨学生 幼児	小学生	中学生	小計	奨学金貸与奨学生	合計	62年度第1回新規採用者 幼児	小学生	中学生	高校生	計
北海道	6	74	81(5)	161(5)	24	185(5)	1	1	2	7	11
青森	6	47	47(2)	100(2)	21	121(2)	2	1	1	3	7
岩手	6	46	53(1)	105(1)	16	121(2)	1	－	－	4	5
宮城	3	36	61(3)	100(3)	31	131(3)	1	1	－	13	15
秋田	1	8	8	17	1	18	－	1	－	－	1
山形	－	7	8	15	4	19	－	2	－	1	3
福島	1	18	15	34	6	40	－	2	1	2	5
茨城	－	2	4	6	1	7	－	－	－	1	1
栃木	－	－	1	1	1	2	－	－	－	1	1
千葉	2	7	5	14	6	20	1	－	1	1	3
東京	－	2	－	2	1	3	－	－	－	－	－
神奈川	－	3	2	5	2	7	－	1	1	1	3
新潟	－	5	6	11	1	12	－	－	－	－	－
富山	－	3	3	6	2	8	－	－	－	－	－
石川	5	13	20	38	11	49	－	－	－	2	2
福井	－	2	1	3	4	7	－	－	－	1	1
静岡	－	6	5	11	2	13	－	－	－	－	－
愛知	－	5	12(1)	17(1)	5	22(1)	－	－	2	2	4
三重	3	11	8	22	5	27	1	1	－	1	3
京都	－	3	4	7	3	10	－	－	－	－	－
大阪	－	1	3	4	1	5	－	－	－	1	1
兵庫	3	9	11(2)	23(2)	3	26(2)	1	－	－	2	3
和歌山	－	－	3	3	5〔1〕	8〔1〕	－	－	－	2〔1〕	2〔1〕
鳥取	－	8	7	15	10	25	－	－	－	2	2
島根	1	16	17	34	5	39	－	1	2	3	6
岡山	2	3	4	9	3	12	－	－	－	1	1
広島	1	9	2	12	1	13	1	－	－	1	2
山口	2	20	23(1)	45(1)	20	65(1)	－	－	1	6	7
香川	1	3	4	8	3〔1〕	11〔1〕	－	－	－	1〔1〕	1〔1〕
徳島	－	6	6	12	3	15	－	－	－	1	1
愛媛	1	9	13	23	2	25	－	－	－	1	1
高知	2	8	9	19	5	24	－	1	－	3	4
福岡	2	20	13	35	7	42	－	－	－	4	4
福岡県有明海	－	2	1	3	3	6	－	－	－	2	2
佐賀県玄海	－	1	4	5	1	6	－	－	－	1	1
佐賀県有明海	－	4	1	5	3	8	－	－	－	－	－
長崎	1	37	34(1)	72(1)	22	94(1)	－	2	1	8	11
大分	－	13	6	19	3	22	－	－	1	2	3
熊本	－	3	7(1)	10(1)	1	11(1)	－	－	－	－	－
宮崎	6	13	10	29	6	35	2	－	4	1	7
鹿児島	1	14	10	25	7	32	1	1	－	1	3
沖縄	3	10	7	20	4	24	3	－	－	1	4
合計	59	507	539(17)	1,105(17)	265〔2〕	1,370(17)(2)	15	15	17	84(2)	131(2)

(注) 学資給与奨学生の（　）内は特殊児で内数である。
奨学金貸与奨学生の〔　〕は高校入学一時金のみの採用者で外数である。

励ましおじさん・おばさん

『会員申し込み・奨学資金の御寄付』のお礼

昭和六十二年四月から六月までの間に申し込みに併せて、奨学資金の御寄付を開始していただいた会員は次の方々です。ここに御芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

なお、会員応募のお願いを懸命に行っているところであります。御一報くだされば「会員募集のしおり」等をお送りいたしますので、よろしく御協力のほどお願い申し上げます。

※御芳名（敬称略）

〔四月〕　▽共水連顧問西村清俊・継続▽共水連専務理事杉森晋・継続▽共水連常務理事中谷修三・継続▽大日本水産会総務部長大沢晋・継続▽全国まき網漁業協会専務理事宮本誠・継続▽木下良雄・継続（神奈川県横浜市）

〔五月〕　▽島田式子（神奈川県横浜市）▽島一雄（水産庁）

〔六月〕　▽能登谷正好（神奈川県横浜市）▽鎌田エツ子（東京都品川区）▽古田土満（東京都江戸川区）▽㈲菱幸運輸▽㈶海洋生物環境研究所理事長斉藤達夫・継続▽神港魚類・継続

基金造成

『募金・御寄付』のお礼

昭和六十二年四月から六月までの間に御寄付、募金を賜わった方々の御芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

※御芳名（敬称略）

一、漁協系統募金（系統扱い一般寄付金を含む。）

〔四月〕　▽名立漁協婦人部他二件（新潟県）▽宮崎県▽石川県▽山口県▽山下廣（長崎県）▽兵庫県▽佐藤水産㈱社長佐藤憲道他一件（兵庫県）▽八戸港海の記念日行事協賛会（青森県）▽山口県▽市場改築完成記念事業実行委員会水産物部実行委員会（兵庫県）▽森勝也・香典返（香川県）▽宗谷漁協前参事佐々木清美・退職記念（北海道）▽田村幸枝・香典返、吉川友和・香典返（島根県）▽伊藤正隆（秋田県）▽テレビ岩手（岩手県）▽静岡県▽全漁連海苔部・節分の日のり巻チャリティーセール売上金▽西本實・香典返（広島県）▽野波漁協前参事梶野昭二・退職記念（島根県）▽福岡県漁協婦人部連絡協議会有明支部・第三十七回浅海増殖研究発表大会募金（福岡県有明海）▽野村久米夫（神奈川県）▽服部こみね他五十三件（三重県）▽乙島漁協婦人部（岡山県）▽香川県立多渡津水産高等学校創立五十周年記念事業実行委員会▽帆船日本丸塩釜港入港歓迎協賛会他一件（宮城県）▽静岡県▽福岡県有明海▽阿久根市漁協・海難遺児チャリティー鳥羽一郎ショー募金（鹿児島県）

〔六月〕　▽共宝丸（島根県）▽静岡県▽佐賀県玄海▽山口県▽布目久三（富山県）広島県漁船保険組合常勤役職員一同▽瀬戸トモ・英夫、瀬戸漁業㈱社長瀬戸常蔵氏香典返（北海道）▽浜屋水産㈱・創立五十周年記念（北海道）▽熊本県▽山内睦重（島根県）▽藤原フクヨ・県漁連会長故藤原勘一氏香典返（愛媛県）▽八幡浜市漁協、漁協の共済推進大会・海難遺児チャリティー鳥羽一郎ショー募金（愛媛県）

一、一般寄付

〔四月〕　▽匿名（東京都品川区）▽室井円祐（東京都練馬区）▽春田孝二郎・朝子（東京都文京区）▽鈴木良三（千葉県船橋市）▽笠井一之（三重県亀山市）▽長澤勲（東京都江東区）▽野原芳枝（東京都八王子市）▽匿名▽中山筆子（神奈川藤沢市）▽阪井光平（大阪府堺市）▽石山滋子（東京都世田谷区）▽丹和子（愛媛県新居浜市）▽農林中央金庫総務部管財室次長市川正敏▽上田都美（東京都荒川区）▽中村ヤマ（東京都練馬区）▽匿名（千葉県船橋市）▽善寶寺（山形県鶴岡市）▽飯村久子（千葉県野田市）▽竹内常夫（長崎市）▽野崎寛光（静岡県伊豆長岡市）▽横浜船員センター▽匿名（福岡市）

〔五月〕　▽東京魚商業協同組合募金箱▽全国漁業協同組合学校募金箱▽中島けい子（神奈川県藤沢市）▽中村常蔵（東京都墨田区）▽長沢勲（東京都江東区）▽鈴木良三（千葉県船橋市）▽匿名（神奈川県相模原市）▽匿名▽立正佼成会厚岸支部▽野原芳枝（東京都八王子市）▽井上一雄（千葉県印西町）▽山中正子（神奈川県横浜市）▽春田孝二郎（東京都文京区）▽田尻孝久（滋賀県草津市）▽中山筆子（神奈川県藤沢市）▽匿名（東京都品川区）室井浴子（東京都練馬区）▽加藤康生（千葉県成田市）▽匿名（東京都中野区）▽河野基（千葉県松戸市）▽中村ヤマ（東京都練馬区）▽梅津静子（東京都大田区）▽日本わかめ協会東北キャンペーン事務局▽東都水産㈱・五十年史発刊記念▽日本郵船㈱保土ヶ谷寮自治会（全日海経由）▽指幸子（東京都板橋区）▽太田憲治（大阪府守口市）▽上田都美（東京都荒川区）▽クラウンレコード㈱▽山上義人（京都府亀岡市）▽飯村久子（千葉県野田市）▽匿名（福岡市）▽原田八重子（東京都国立市）

〔六月〕　▽匿名（東京都品川区）▽春田孝二郎（東京都文京区）▽中央魚類㈱・創立五十周年記念▽鈴木良三（千葉県船橋市）▽長沢勲（東京都江東区）▽匿名（東京都足立区）▽室井浴子（東京都練馬区）▽橋本孝禧（神奈川県相模原市）▽吉田純子（埼玉県川口市）▽中島けい子（神奈川県藤沢市）▽第六十八富丸船長吉田裕樹外乗組員一同（全日海経由）▽中山筆子（神奈川県藤沢市）▽㈱ジョイ企画▽野原芳枝（東京都八王子市）▽島田則之（石川県辰口町）▽竹中常夫（長崎市）▽田村英雄・在子（東京都江戸川区）▽沖縄県立沖縄水産高校　▽㈱シネ・ビルド真柴（北浦妙子・利津子、向井伸也）▽五弓徹（兵庫県伊丹市）▽中村ヤマ（東京都練馬区）▽漁協共済推進全国大会募金▽戸根美津子（神奈川県横浜市）▽東京築地中央市場福祉報徳会▽上田都美（東京荒川区）▽指幸子（東京都板橋区）▽高浜食品工業㈱▽㈱起屋ホテル・サンサニー▽㈶漁場油濁被害救済基金募金箱▽飯村久子（千葉県野田市）▽福島俊彦・横浜海員会館館長故福島俊策氏香典返▽匿名（福岡市）

編集後記

暑い毎日です。夏休みもすぐですね。体をきたえ、勉強も頑張ってください。

渡辺順子さんお元気ですか、本号が少しおくれ本当にお待せして申訳ありませんでした。熊本県の池田さん、佐伯さん御多忙のところ寄稿誠に有難うございました。（手島）